





右膿胸腔掻爬術パス

入院診療計画書

患者ID 主治医
 患者氏名 () 担当医
 生年月日: () 看護師
 病棟(病室) 薬剤師

病名 説明日
 管理栄養士 症状 事前検査による異常所見
 特別な栄養管理の必要性 患部の自覚症状
有 無 (呼吸苦・)

月日	入院日・前日	手術前
患者目標	不安なく手術を受けることができる	
治療処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 	朝の薬は 時 分 に()を 少量の水で内服します
検査	CTとレントゲン撮影をします	
食事	常食(必要に応じて治療食)です 手術前日21時以降は食事を摂取することができません 水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます	食事を摂取することはできません 水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます
排泄	制限はありません	
清潔	シャワー浴ができます (必要な場合はお手伝いをします) 	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際は、 スタッフに声をかけてください	病棟内でお過ごしください 手術室へ歩いて移動します (状態によっては車椅子やベッドで移動します) 
説明 (指導)	入院生活や手術について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 手術室看護師の訪問があります 麻酔科医師より麻酔について説明があります 	手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる際はスタッフに声をかけてください)
その他		手術中は必ず、すぐに電話を受けられるようにしてください

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

(本人・家族) ()

呼吸器外科パス:

患者氏名

()

患者ID

月日	手術後	術後1日目
患者目標	手術後合併症を起こさない	
治療処置 注射 (内服)	自動血圧計、心電図モニターを装着します 酸素を開始し、足にはフットポンプを装着します (装着時間は状態によって変わります) 右胸に管が入り、点滴をした状態で帰室します (続けて点滴をします)	医師の指示により心電図モニターを外します 医師の指示により点滴の針を抜きます 状態により尿の管を抜きます
検査		血液検査とレントゲン撮影をします
食事	手術6時間後に、飲みこみの確認をします その後、お腹の動きが確認できたら水分(水・お茶のみ)を摂取することができます	昼は全粥食です 夕からは常食(必要に応じて治療食)です
排泄	尿の管が入っています 排便はベッド上で便器を使用します 歩行開始後はトイレで排便できます	尿の管が抜けたら排尿もトイレを使用します
清潔	翌朝まで手術着のままで観察していきます	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	手術後6時間はベッド上で安静となります 安静解除後は、病棟内でお過ごしください 初回歩行後は、ふらつきなどがなければ1人で歩けます 歩行後、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます (状態によって変更があります)	病棟内でお過ごしください
説明 (指導)	手術後に医師から説明があります 痛みが強い時や気持ちが悪い時など、異常を感じた時は、 すぐにお知らせください	



※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。



注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

呼吸器外科パス:

患者氏名

()

患者ID

月日	術後2~7日目 / ~ /	退院日 /
患者目標	手術後合併症を起こさない	痛みのコントロールができ、日常生活が不安なく過ごせる
治療 処置 注射 (内服)	状態により胸の管を抜きます	血液検査とレントゲン撮影をします 退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします (不在の場合には看護師からお渡しする場合があります)
検査	毎日レントゲン撮影をします 術後2日目に痰を採取し検査します 術後3、5、7日目に血液検査をします	ネームバンドを外します 体温計を回収します
食事	常食(必要に応じて治療食)です	退院後の過ごし方、次回外来について説明をします
排泄	制限はありません	次回の外来予約票と診察券をお渡します 会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日)
清潔	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします) 胸に入っている管が抜けたら、シャワー浴ができます	会計の説明を聞いてからの退院となります (状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
活動 (安静度)	制限はありません	
説明 (指導)	痛みが強い時や気持ちが悪い時など、異常を感じた時は、 すぐにお知らせください 	

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

呼吸器外科パス: